

レファレンス・サービス Reference services

	年度	利用者別内訳				内容別内訳				
		学内者		学外者	合計	文献所在調査	事項調査	利用指導	その他	合計
		教職員	学生							
		人	人	人	人	人	人	人	人	人
中央図書館	平成15	636	1,274	435	2,345	1,220	164	664	297	2,345
	16	530	1,059	377	1,966	851	170	649	296	1,966
医学部分館	平成15	728	391	582	1,701	478	402	620	201	1,701
	16	407	135	174	716	390	93	233	0	716
保健学科 図書室	平成15	0	800	200	1,000	1,000	0	0	0	1,000
	16	0	880	220	1,100	1,100	0	0	0	1,100
工学部分館	平成15	178	460	76	714	436	144	134	0	714
	16	160	472	79	711	442	121	148	0	711
薬学部 図書室	平成15	18	99	5	122	98	6	18	0	122
	16	36	130	2	168	126	2	40	0	168
合計(全学)	平成15	1,560	3,024	1,298	5,882	3,232	716	1,436	498	5,882
	16	1,133	2,676	852	4,661	2,909	386	1,070	296	4,661

注) 図書館間相互貸借に関わる文献所在調査の件数を含まない。

施設の利用(中央図書館) Use of facilities

1. 施設の利用状況 Statistics of facilities use

年度	A V 室		演習室		マイクロ資料室	合計
	回	人	回	人	人	
平成15	33	1,380	139	1,103	239	2,722
16	50	2,128	82	634	306	3,068

2. 留学生用図書コーナー Materials for foreign students

本学留学生の学習の支援のために特別に図書コーナーを設けている。現在、日本事情などの図書を中心に約2,700冊を配置している。

3. EU(欧州連合)資料センター EU(European Union) Document Center

国内に20あるEU資料センター(EDC)の1つとして1985年から設置されている。

資料はEUに加盟する各機関が発行した報告書、統計、法令及び議会資料等である。



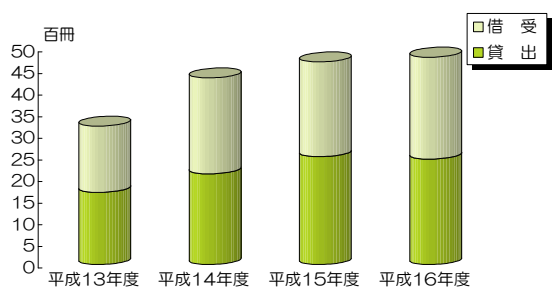
図書館間の相互協力サービス Interlibrary loan services

1. 現物貸借サービス Interlibrary loan

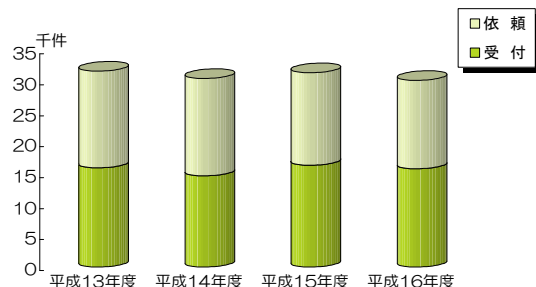
	年度	国 内				国 外		合 計	
		大学図書館		その他		貸出	借受	貸出	借受
		貸出	借受	貸出	借受				
中央図書館	平成15	冊 2,207	冊 1,769	冊 135	冊 99	冊 6	冊 12	冊 2,348	冊 1,880
	16	1,979	1,834	307	73	12	15	2,298	1,922
医学部分館	平成15	46	39	0	0	0	0	46	39
	16	38	133	2	0	0	0	40	133
保健学科 図書室	平成15	45	101	0	0	0	0	45	101
	16	49	154	0	0	0	0	49	154
工学部分館	平成15	56	139	0	0	0	0	56	139
	16	54	114	0	0	0	0	54	114
薬学部 図書室	平成15	0	33	0	0	0	0	0	33
	16	0	31	0	0	0	0	0	31
合計(全学)	平成15	2,354	2,081	135	99	6	12	2,495	2,192
	16	2,120	2,266	309	73	12	15	2,441	2,354

2. 文献複写サービス Photocopying

	年度	国 内				国 外		合 計	
		大学図書館		その他		受付	依頼	受付	依頼
		受付	依頼	受付	依頼				
中央図書館	平成15	件 8,658	件 4,797	件 152	件 419	件 7	件 163	件 8,817	件 5,379
	16	8,897	4,341	192	331	38	155	9,127	4,827
医学部分館	平成15	7,320	4,578	36	111	0	0	7,356	4,689
	16	5,856	4,233	528	158	0	0	6,384	4,391
保健学科 図書室	平成15	98	2,006	0	224	0	0	98	2,230
	16	140	2,920	0	139	0	0	140	3,059
工学部分館	平成15	203	1,728	0	143	0	0	203	1,871
	16	231	1,272	0	61	0	0	231	1,333
薬学部 図書室	平成15	0	747	0	10	0	4	0	761
	16	0	664	0	2	0	0	0	666
合計(全学)	平成15	16,279	13,856	188	907	7	167	16,474	14,930
	16	15,124	13,430	720	691	38	155	15,882	14,276



年度別現物貸借冊数(全学)



年度別文献複写サービス件数(全学)

情報検索サービス Information retrieval services

1. 所蔵目録データベース Kanazawa University online catalog

データベース	備考
金沢大学所蔵図書・雑誌目録(OPAC)	Web
金沢大学所蔵古写本・版本データ・ベース	Web

2. ネットワーク対応データベース Online databases

データベース	備考
Chemical Abstracts 12&13 t h Index	CD-ROM
判例マスター	CD-ROM
GeNii学術コンテンツポータル	Web
Scopus	Web
SwetScan	Web
聞蔵DNA for Libraries	Web
医学中央雑誌Web版	Web
Ovid MEDLINE, CINAHL	Web
MAGAZINE PLUS	Web
PsycINFO	Web
Sociological Abstracts	Web

3. 電子ジャーナル Electronic journals

パッケージ名	内 容	タイトル数
ACS(American Chemical Society) Web Editions	ACSの主要24誌	24
APS=American Physical Society	APSの8誌	8
Blackwell HSS	Blackwell発行の人文系学術雑誌	300
Elsevier Science Direct Freedom Collection	Elsevier発行の学術雑誌全タイトル	1,800
Nature	Nature及びNature関連雑誌2誌	3
Springer Link	Springer発行の学術雑誌全タイトル(旧Kluwer社分は除く)	440
JSTOR : Arts&Sciences I	人文社会系を中心とした主要雑誌のバックナンバー	117
非パッケージ型	Cell, JBC, PNASなど7誌	7

図書館予算及び学内で共通経費化された電子ジャーナル予算で経費を負担している。

平成17年度

4. 情報検索機器 Equipments for searching

情報検索及び演習用として、パーソナルコンピュータを中央図書館に42台、医学部分館に21台、自然科学系図書館に123台設置しているほか、各館に情報コンセントを設置している。

利用者教育・講習 User education and staff training

1. オリエンテーション Orientation

中央図書館では、利用者に対して各種オリエンテーションや利用説明会を開催している。

名 称	内 容	実施時期
新入生オリエンテーション	新入生全員に対して、図書館のサービス、設備などの概略を紹介する。	4月
図書館利用説明会	希望者に対して、館内ツアーを実施する。また、OPAC、雑誌論文、新聞記事、電子ジャーナルなどの検索方法を説明し、実習を行う。	4～6月 10～12月
図書館オリエンテーション	授業・ゼミ単位で希望に応じて、図書館のサービス、文献探索方法などを説明する。	随時

2. 総合科目の開講 Cultural subjects for students

平成10年度から、附属図書館長をコーディネーターとした総合科目を開講し、学生の図書館情報活用を支援している。

年 度	講 義 名	コマ, 単位
平成10	大学図書館と図書資料に親しむ	前期, 2単位
平成11～17	大学図書館への招待 ーみずから学ぶ, 図書資料を楽しむー	前期, 2単位

履修定員：60名

3. 講習会 Staff training

国立情報学研究所と共催で、次の講習会を開催している

名 称	内 容	参加組織
目録システム 地域講習会	全国規模の総合目録データベースを形成するシステムであるNACSIS-CATの入力作業に習熟するための講習会。	北陸地区の大学図書館等の職員。

実施年度：平成11年度、12年度、14年度、16年度



- 総合科目
教員と図書館職員が授業を担当している。



- 留学生オリエンテーション

図書館の公開 Library services for the community

1. 市民への公開 Open to citizens

附属図書館では、調査及び研究を目的とする一般市民に対し、閲覧を中心に図書館サービスを提供してきた。平成13年度から、石川県内に在住、または、石川県に通勤・通学する市民、及び本学の卒業生、元教職員を対象に資料の館外貸出サービスを開始し、平成16年度には、対象の範囲を石川県内から北陸3県に在住する市民に広げた。

このサービスは、市民の学習意欲や高度な知識欲に応え、本学の理念の一つとする社会に貢献する大学作りの一環として、学生・教職員の教育研究活動に支障の無い範囲内で、専門的かつ高度な内容の資料を地域社会に提供するものである。

平成14年度には、当館と石川県公共図書館協議会との間で、資料の貸借等の相互協力に関する覚書を締結し、利用者の便宜を図っている。平成15年9月からは、市内中心部にある金沢大学サテライトプラザを中継し、県立図書館協力車を利用した資料の受け渡しサービスも実施している。

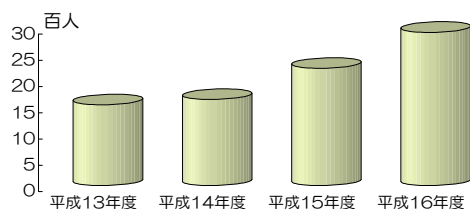
■ サービス内容

利用できる資料	中央図書館及び分館等に所蔵する図書・雑誌等
サービスの範囲	館内での閲覧、複写及びレファレンス・サービス 資料の貸出※
利用できる時間	開館している時間内(9頁：開館時間を参照)

※貸出対象となる資料は、中央図書館及び分館等に所蔵する貸出可の資料。

2. 学外利用者数 Usage by citizens

	年度	他大学研究者(人)	他大学学生(人)	その他(人)	合計(人)
中央図書館	平成15	99	264	920	1,283
	16	23	106	1,957	2,086
医学部分館	平成15	47	197	299	543
	16	10	105	234	349
保健学科 図書室	平成15	3	59	257	319
	16	6	99	253	358
工学部分館	平成15	8	29	41	78
	16	5	46	65	116
薬学部 図書室	平成15	2	0	13	15
	16	2	8	3	13
合計(全学)	平成15	159	549	1,530	2,238
	16	46	364	2,512	2,922



年度別学外利用者数

● 中央図書館正面の前栽に咲くアカンサス(6月)
「アカンサス」は、古代ギリシア・ローマに由来し、金沢大学の校章に使われている植物(和名「ハアザミ」)である。



図書館の公開

3. 公開講演会等 Lectures and symposiums

■ 暁烏記念講演会

毎年、暁烏文庫の寄贈者暁烏敏(あけがらす はや)師の功績をたたえる暁烏記念式において、記念講演会を開催している。

年 度	講 演 名	講 演 者
平成10	先達・暁烏敏と祖父・藤原鉄乗	藤原 正洋
11	寺院の文庫と海外流出資料	小峯 和明
12	近代仏教の「実験」－満之・顕明・恵猛	阿満 利麿
13	世界宗教と日本人の宗教観	田川 建三
14	暁烏敏の詩集『謎の跡』を巡って	松永 伍一
15	暁烏敏の意義	松田 章一
16	聖なるものを求めて：ある日本人僧と現代インド仏教運動	島 岩
17	自由の精神－西田幾多郎と鈴木大拙に学ぶ	竹村 牧男

平成11年度は、講演とあわせて記念シンポジウム「仏教文学と文献利用」を開催した。

■ 金沢大学附属図書館シンポジウム、及び講演会

学術情報の専門家を招き、大学図書館について論じる公開シンポジウムや講演会を開催している。

名 称	テ ー マ	講演者・パネリスト(学外)
第1回 シンポジウム (平成7年11月)	これからの大学図書館を考える	表 政直(石川県立図書館) 永田 治樹(図書館情報大学)
第2回 シンポジウム (平成8年11月)	新しい情報環境と大学図書館	井上 如(学術情報センター) 小林 俊一(新潟大学) 谷口 敏夫(光華女子大学)
第3回 シンポジウム (平成10年3月)	大学図書館活動に係る自己点検評価	渋川 雅俊(慶応義塾大学) 大口勇次郎(お茶の水女子大学)
第4回 シンポジウム (平成10年10月)	研究成果流通と大学図書館	内藤 衛亮(学術情報センター) 越塚 美加(学習院女子大学)
講 演 会 (平成12年12月)	大学改革と大学図書館のかかわり	北 克一 (大阪市立大学学術情報センター)
平成13年度シンポジウム (平成13年10月)	学術情報の流通とコンピュータ	中西 秀彦(中西印刷) 室井 尚(横浜国立大学)
平成14年度シンポジウム (平成14年11月)	これからの大学図書館のあり方	伊藤 義人(名古屋大学) 有川 節夫(九州大学) 岸本 衆志(石川県立図書館) 加藤 好郎(慶応義塾大学)
平成15年度シンポジウム (平成15年11月)	デジタル時代における学術雑誌の新たな進展と課題	土屋 俊(千葉大学) 安達 淳(国立情報学研究所) 酒井 清彦(埼玉大学)

● 暁烏記念講演会

記念式は平成17年度で56回を迎えた。



● 図書館シンポジウム

平成15年度「デジタル時代における学術雑誌の新たな進展と課題」

